



いなみ町議会だより



春を彩る桜花(丹生・来迎寺)

4月定例議会

- 21年度予算審議・議案審議……………P2～P6
- 一般質問（3議員）……………P7～P9
- 委員会活動報告……………P10～P11
- 企業めぐり・あとかぎ……………P12



平成21年第1回印南町議会定例会

平成21年第1回印南町議会定例会は、3月9日開会し、17日閉会しました。

今回の上程案件は、専決処分1件、条例制定4件、条例改正7件、整備計画1件、町道路線関係1件、平成20年度補正予算8件、平成21年度一般会計予算・特別会計（10会計）予算が提案され、慎重審議の上、すべて可決しました。さらに、農業委員会委員の推薦（4名）、議員発議による条例改正2件、請願審査の報告2件を可決しました。

平成21年度当初予算 = 一般会計 **42億8,869万1千円**
 + 特別会計 **26億7,643万9千円**
総額 69億6,513万円

- 国民健康保険事業…………… 12億8,497万0千円
- 老人保健事業…………… 313万1千円
- 後期高齢者医療…………… 2億2,531万5千円
- 介護保険事業…………… 7億7,059万8千円
- 印南町簡易水道事業…………… 1億7,681万2千円
- 美浜町・日高町・由良町・印南町指導主事共同設置事業…………… 2,072万1千円
- 農業集落排水事業…………… 1億4,424万5千円
- 同和対策新築家屋貸付金…………… 1,133万3千円
- 印南町宅地造成事業…………… 3,100万2千円
- 滝ノ岡専用水道事業…………… 831万2千円

21年度一般会計予算に対する質疑

一般会計予算は討論の結果、賛成11、反対1で可決されました。

コミユニティバス試行運行委託料

① コミュニティバス試行運行委託料で300万円が計上されているが運行内容は。

② 櫻川から清流小学校を経由し、切目駅までの間を試行運行する。通学時間帯の往路1回復路2回とし、現在清流中学校で利用しているバスを利用する。

防災に関する予算について

③ 防災総合推進事業費として、避難タワー建設工事費用として2200万円が計上されているが、切目地区の計画はどうなっているのか。

④ 切目地区では現地調査を行ったが、地権者の了解が不可欠となる。協力の

をいただき取り組んでいく。

ゴルフコンペの効果は

⑤ 印南町ゴルフコンペ助成金として50万円の計上となっているが、この効果は。

⑥ 52組、194名の参加者があった。産品販売を実施し、ゴルフ客にも好評であった。当町の産品に対し、認識を深めてもらい、大きな効果があった。



印南町ゴルフコンペ開催

黒潮フルーツラインについて

⑦ 黒潮フルーツラインについて、これまでどれほどの事業費を使っているのか。また、完成後の具体的な活用は。

⑧ 全体事業費は22.3億円。本年度は25億の割当で本年度以降に完成する予定である。

活用方法は農産物流通の合理化を図り、本区域、農業の活性化に資する目的で実施されるものである。



ゴルフコンペで印南町の産品を販売

町道西浜小学校線の安全性は？

Q 道路新設改良事業費として町道西浜小学校線の工事費用が計上されている。

A 地元住民や学校の保護者などから「幅員が広がり、今まで事故などなかったが車の通行量が増加し、事故が発生しないか？」との不安の声が上っている。町はどのように考えているのか。

A 今回の事業のように1車線の改良の場合、歩道は設置できないことになっている。しかし、指摘のように危険を伴うことにもなる



改良が待たれる町道西浜小学校線

ので、安全対策を考えていく。

気象情報提供委託業務が削減された理由は

Q 防災に関する予算で、昨年まで委託料として、気象情報提供業務委託として113万円が計上されていたが、本年度は削減されているが、その理由は。

A これまでではウエザー・ニューズと契約をして配信をもらっていたが、インターネットの普及と県の防災システムが構築されたためウエザー・ニューズとの契約を解除したためである。

人権啓発事業費は本当に必要か

Q 社会教育費関連で、人権啓発事業費で出演料として150万円が計上されているが、突出しているのではないかと。本当に必要なのか。

A 平成20年までは3回の講演会を別々に行ってきたが、今年度から1回の講演としていきたい。その費用としての予算計上である。

町民プールの民間委託について

Q 町民プールの民間委託についての具体的な内容は。

A 近隣の町民プールの対応と安全管理面で検討した結果である。雇用者について希望があれば地元の方を優先できる。

学校教育関係について

Q 小学校費の中に印南小学校のプール改修工事費用として5020万円が計上されているが、その内容は。

A 全部撤去を行い、新しいプールをつくる。

Q スクールバス運行委託料として1636万7千円が計上されているが、入札の状況はどうなっているのか。

A 入札参加者は5社。中紀河南タクシー(株)が落札した。

住宅改善費について

Q 住宅改善工事費用として4000万円が計上されているが、これはいつまで続くのか。

A 平成21年度は大規模改修として切山第一団地4戸、小規模改修として切山第二団地12戸、上道公営住宅の第三団地5戸、また、平成20年度まで町単独で実施していた上道改良住宅の解体撤去と敷地整備も本年度から国費で

実施できるように、1棟2戸を撤去する予定である。

学校医の報酬の減額の理由は

Q 学校管理の中で、昨年比に比べ人数は減っていないのに医師に対する報酬が減額になっているが、この理由は。

A 各校医の報酬については、2校の廃校によるものである。



リニューアルされた住宅

平成21年度印南町国民健康
保険事業特別会計予算に対
する質疑

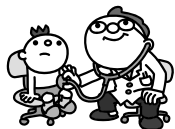
国民健康保健事業特別会
計予算は討論の結果、賛
成11、反対1で可決され
ました。

Q 保険証が発行されな
くて、病院にかかれな
い子どもが増えている問題
がクローズアップされてい
る。

当町では国民健康保険の中
で「子どもたちの無保険」と
いう状態の世帯はないか。

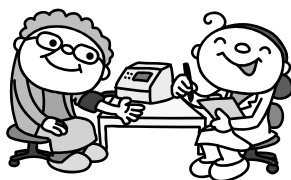
A 現在、資格証明書発
行者（医療費が本人10
割負担）は10名程度ある。そ
の中に義務教育課程の子ども
を擁している世帯はない。

しかし、3ヶ月、6ヶ月と
短期証の発行している世帯が
あり、その中には児童等も含
まれている。特に配慮して短
期証も6ヶ月以上の短期証を
発行するという手立てをして
いる。



平成21年度印南町後期高齢
者医療特別会計予算に対す
る質疑

後期高齢者医療特別会計
予算は討論の結果、賛成
11、反対1で可決されま
した。



Q 今回の当初予算では
普通徴収（年金などが
らの天引きではなく、自分で
支払う）の保険料として23
00万円計上しているが、こ
の普通徴収の対象人数は。
また、平成20年度の保険料
の徴収は。

A 具体的な数字は手元
にないが、特別徴収の
者が、口座振替等で普通徴収
が容易になり増加している。
また、平成20年度の保険料
の徴収率は見込みとして99%
以上を考えている。

平成21年度印南町介護保険
特別会計予算に対する質疑

介護保険特別会計予算は
討論の結果、賛成11、反
対1で可決されました。

Q 歳入で保険料の普通
徴収（自分で役場窓口
などで支払う）分として11
50万1千円が計上されてい
るが、対象人数は。

A 普通徴収のみの人数
の資料は持ち合わせて
いないが、全体の対象人数は
2755人である。

Q 任意事業費について
質問します。任意事業
は地域支援事業の3つのうち
の1つであるが、家族介護継
続支援委託料が昨年の予算よ
り277万円の増額計上にな
っているがどのような内容な
のか。

A 介護用品引き換えク
ーポン券である。寝た
きり等の方で、オムツや介
護用品が必要な方に月々30
00円のクーポン券を出して
いる。

これまで、この費用は一般
会計と介護保険特別会計の2

つで支援をしていたが、これ
を介護保険の方へ組み替えを
した。



平成21年度印南町簡易水道
事業特別会計に対する質疑

簡易水道事業特別会計予
算は討論の結果、賛成11、
反対1で可決されまし
た。

Q 歳出の中で、薬品代
として250万円の計
上がされているが、昨年度
（平成20年度）と比べ50万円
の減額となっているが、これ
は薬品の種類などを変えたの
か。

A 町長から指示があ
り、薬品会社と交渉し
た上で減額した。

Q 薬品代を50万円減額
することのことだが、キ
チンと薬品の役割、安全性は
確保できるのか。

A 充分、薬品会社と検
討しているので大丈夫
である。

平成21年度印南町滝ノ岡専
用水道事業特別会計に対す
る質疑

Q 雑入の500万円に
ついて苦情が広がって
いる。「水道代を毎月キチン
と支払いをしているのに、ど
うして500万円という高額
を支払う必要があるのか。大
きな負担となっている」との
声がある。見解を求めます。

A 紀ノ郷管理組合と町
が協定を結び、毎年協
定により500万円を町に納
めてもらっている。

紀ノ郷地内の水道管の修理
代について、このお金を使用
したこともあり、過去には7
00万円を納めてもらったこ
ともあった。
あくまでも、協定書の中で
「修理をする」とのことにな
っているの、納めていただ
くことを原則でやっている。

平成21年度印南町宅地造成
事業特別会計に対する質疑

Q 当初の事業計画の内容
容はどのようになって
いるのか。

A この宅地造成事業計
画は平成16年から平成
25年までの10年間を予定して
いる。

販売促進対策として昨年7
月に社団法人和歌山県宅地建
物取引業協会の幅広いネット
ワークを活用した販売促進に
期待するとともに町の広報
誌、HP及び地方新聞などへ
の広告等を実施し、広範囲へ
のPR活動が必要であると考え
ている。

議案審議

印南町交通指導員条例の制
定について

Q 25名から17名にした
理由と適格性を欠いた
と認められたときはどんなこと
が起こったときに解任するの
か。

A 印南、稲原、切目4
名、切目川3名、真妻
2名で17名以内としました。
適格性を欠くというのは交通
事故、飲酒運転等が主な原因
だと思います。

印南町廃棄物の処理及び清
掃に関する条例の一部改正
について

討論の結果、賛成11、反
対1で可決されました。

Q ゴミ処理有料化にす
れば減量化ができる
という根拠を示していただき
たい。

A 資源ゴミ等の分類、
生ゴミの量の減量と
か、いわゆる循環型社会へ向
けての分類等の促進をこの有



印南町分課設置条例の一部
改正について

Q 地籍調査推進室を設
け、何人体制で取り組
まれるのか。また、地籍調査
推進室を設けることによつて
地籍調査の具体的な計画をど
のように立てられているのか。

A 今後、人事異動を予
定しているため、その
中でしていきたいと思いま
す。

また、計画については、21
年度からは20年度の3倍程度
にペースアップして、平成35
年に終わる計画です。

Q 自治体に対する町民
の協力なしには、この
ゴミの減量化は進んでいかな
いのではないかと。
住民の皆さんに、この計画
の説明はどこまでされている
のか。

A 昨年12月5日の区長
会で説明し、また10回
の地域の総会、婦人会等で説
明させていただきました。

宇杉ヶ丘団地を眺む



印南町水道事業給水条例の一部改正について

討論の結果、賛成10、反対2で可決されました。



新しい料金形態で、一世帯4人平均で、どのくらいの料金アップになりますか。



一世帯月平均、大体25トンを使っています。それによりますと、925円くらいアップになります。

4人世帯で平均30トン使用すると、1150円のアップになります。



切目川筋の水道料金徴収状況はあまりよくないが、今回の値上げによって、さらに大きくなると思いますが。



水道料金を基に水道の運営をしていかなければ成り立ちません。ご理解とご協力をいただき、徴収等に力を入れていくところです。



統一化して、値上げすること、どれくら

いの増収があるのか。



年間、約1800万円の増収を見込んでいます。



印南浄水場浄化施設（より安全な水道水を各家庭に...）

その他主な議案

- ・印南町小規模土地改良事業負担金徴収条例の制定
- ・県営土地改良事業分担金徴収条例の制定
- ・印南町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定
- ・印南町介護保険条例の一部改正
- ・印南町税条例の一部改正
- ・印南町職員旅費条例の一部改正
- ・印南町個人情報保護条例の一部改正
- ・辺地総合整備計画
- ・町道路線の認定及び廃止
- ・平成20年度印南町一般会計補正予算
- ・平成20年度印南町特別会計（7会計）補正予算
- ・平成21年度印南町特別会計（10会計）予算

今議会で請願2件を不採択

請願第8号（不採択）

公設民営によるケーブルテレビ施設整備についての請願

総務文教常任委員会に付託された本請願について、審査した結果、願意である公設民営によるケーブルテレビ施設整備についての必要性、実効性は極めて低いものであると判断し、請願不採択であるとして、今議会において総務文教常任委員長から報告があり、全会一致で不採択とされました。

請願第11号（不採択）

高齢者に負担増と差別医療を強いる後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める請願

厚生常任委員会に付託された本請願について、審査した結果、本制度は、国民皆保険を堅持するために国が行っている制度改革の一環であり、すでに平成20年4月より施行されている。また、平成19年12月7日に請願第10号を不採択にしていることから、請願不採択として、今議会において厚生常任委員長から報告があり、賛成11、反対1で不採択とされました。

議員発議による議案が2案提案され、可決しました。

発議第1号

議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正（全開一致で可決）

発議第2号

印南町議会議員定数条例の一部改正（賛成11、反対1）



西山 徹議員

農業振興について

—農家レストランの整備を—

農家レストランの整備を

質問 印南町には、海があり、山があり、川があります。その自然環境を利用した建築資材や新鮮な農産物や海産物を使い、廃校を利用した宿泊施設や農家レストランなど、地域の核となる施設の整備を考えてはどうか。

答弁 産業課長

印南町は豊かな自然に恵まれていますが、その自然を有効的に活用するには、農家レストランは魅力的と考えます。

その第1段階として生活営農改善グループ連絡協議会によるバイキング形式による味交換会を開催し、一般の方にも印南の食材を使った料理を味わっていただきます。このような



バイキング形式による味交換会

取り組みからはじめ、次の段階へステップアップを計り、組織体制の構築が重要となります。

今後は、地域の核となる施設の整備につなげていけるよう、地域と一体となる取り組みを進めていきたい。

また、新年度の事業として、農業体験や農家民泊を推進していく計画です。

地域づくりを積極的に

質問 中山間地域における農業については、小規模農家や高齢化、後継者不足により、集落の崩壊を招く恐れもあると考えます。

答弁 産業課長

中山間地域においては、農業振興以前に集落機能の維持がむずかしい現状であり、今後、集落の人と一緒に、それぞれの集落にあった方策を考えていく必要があります。地域と行政が一体となり解決していく課題であります。

再質問 以前は農業改良普及員がその役割を果たしていたが、それもむずかしくなる中で、集落営農法人を立ち上げる考えはないのか。

答弁 産業課長

町内には、専業農家が多くあり、専業農家が集落営農法人を立ち上げるのはむずかしいが定年退職された方や、Uターン・Eターンされた方に

働きかけをしていきたい。

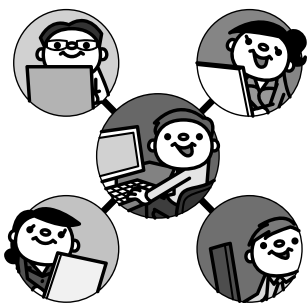
ネット通販の講習会は

質問 町内には光ファイバーによる高速通信網の整備がされていますが、これを利用して農産物の販売について、利用方法の講習会を開いてはどうか。

答弁 産業課長

インターネットを利用した農産物の販売は、魅力的な販売チャンネルと認識しています。

しかし、個人のホームページでの販売はむずかしいのも現状であり、農家からの多数の要望があれば専門家による講習会も考えていきたい。





榎本 一平議員

介護保険制度

-4月から変わる認定方式は どのような影響を与えるか？-

質問 介護保険を利用するには要介護認定の申請を提出し、認定調査を受けなければなりません。

4月から調査項目が8項目削減され、さらにサービスを受けるために必要な要介護認定の方式が大きく変更され、認定の軽度化に拍車がかかる危険性がある。今回の変更内容をどのようにとらえるか。

答弁 健康福祉課長

調査員の主観に基づく調査のずれをなくし、適正化を図ることを目的に調査項目を整理したい。この項目整理が認定の軽度化に拍車がかかるものではない。

現在、要支援1から要介護5で453人であるが、要支援1と2の人たちの認定が心配されるが、その場合は地域支援事業でサービスの提供を行っていく。

国の緊急雇用対策を町民のくらし向上、要求実現のためにどのように活用するのか

質問 国の補正予算の中に緊急雇用対策が盛り込まれ、2011年までの3年間で県に

基金を設置して、事業を行うことで雇用をつくるため2つの交付事業と「緊急雇用創出事業」が活用できるが、どのような取り組みを考えているのか。

答弁 総務課長

全体の予算の規模は2つの雇用対策で4千億円(国レベル)で、これをそれぞれ県レベルで基金として使い、市町村が委託事業を実施して求職者、失業者を支援するのが目的である。

当町では、真妻わさびの復興事業、河川、町道法面の不法投棄された一般廃棄物の撤去、耕作放棄地の除草作業、生活道路や林道の環境整備事業を行う。

交付金事業では、当町には1億2千万円が交付され、防災無線デジタル化に向け活用する。

活力創出基金に3200万円を積み、これは平成21年度に防油堤事業や町道整備、工コカー購入などに活用する。



教職員の労働安全衛生の取り組みは

質問 平成20年4月から全ての労働現場の労働衛生の推進、個人の健康・安全の推進を図るための法律が整備された。

その取り組み点は、長時間労働者への医師による面接指導の実施と労働時間の適切な把握である。平成19年、日高教育長会が実施主体になって、教職員の生活状況アンケートを行っている。印南町の教職員の生活状況アンケートの結果と労働安全衛生に対する教育委員会の見解は。

答弁 教育長

印南町は健康状態に対するアンケートでは良好40.7%、やや不安51.2%大変不安7.3%、健康でない0.8%。

時間外労働では、ほぼ毎日65%、日高全体と比べ差はないが、週20時間以上の労働は0.8%で日高全体に比べ8.1ポイント少ない。

平成18年4月施行の「労働安全衛生法」改正に伴い、平成21年1月の日高地方教育長会において、日高・有田地域産業保健センターで対応することを申し合わせた。

印南町では、1月の校長会で各職員に医師による面接指導の利用について伝え、管理職が職員の精神面のケアを含め、健康管理面での心配りをおこならないように指導した。

国道425号線、新大峠トンネルを中心として古井、稲原両地区に街灯の設置を

再質問 国道425号線の稲原地区から古井地区に向け、新大峠トンネルが開通したが、トンネルを中心に稲原から古井地区にかけ夜は明かりがないために大変危険である。

街灯の設置を県に働きかけていただきたい。

答弁 建設課長

トンネル内の照明灯と出入口の道路照明灯は県が設置するものである。

県の見解は道路照明灯は交通の安全性と快適性を向上させるために設置するもので、交通に支障のある箇所などに設置するものであり、これ以上は設置できない、との内容である。



谷井 長平議員

地震津波対策について

- マリンパーク第二大橋

左岸側に防波堤の設置を-

地震津波から逃れる第一の手段は自分の命は自分で守ることとしていますが、町民の中には災害弱者が多くなっています。津波襲来に備えての対策が急がれます。

質問 マリンパーク第二大橋左岸側150m間には防波堤はなく、高波による浸水、地震発生時には島田集落に津波が押し寄せ、大きな被害が予想されます。早急な対策をとりたい。

答弁 建設課長

この個所を管理する県、また国道42号を管理する紀南河川国道事務所に対策を要望しています。

しかし、この個所の背後には人家がないことから難しいとの見解ですが、巨大な台風による高潮や近い将来予想されている東南海・南海地震に伴う津波が発生した場合には、島田の集落に浸水し、住民の生命財産に被害の及ぶことが十分予想されますので、今後も引き続き、県や紀南河川国道事務所、より一層強く要望していききたいと考えています。

地震津波発生時の水門操作は危険なため自動開閉式に改善を

質問 島田に3つの水門が設置されていますが、地震津波発生時の水門の操作は危険です。自動的に作動する水門に改善できないか。

答弁 建設課長

今後、老朽化が進み、本来の機能が発揮できない状況となれば県に要望していく。

しかし、県の単独事業となるため、自動化に改善するのは難しいと考えています。

なお、1ヶ所の水門の付近に亀裂があるとのことですが、県に現場を確認してもらい、対応していききたい。

マリンパーク住民の津波避難対策を

質問 マリンパークには、3つの橋が架かっていますが、耐震性に問題があります。住民の生命を守るために避難場所設置についての考えはどうですか。

答弁 建設課長

町内278の町道橋についての耐震性の調査は実施していません。

マリンパークの浜畑橋は昭和33年に、マリンパーク第一、第二の大橋は昭和41年に架設されていて、それぞれ51年と41年が経過しているため、耐震性については懸念されます。

万一に備えては避難タワーを設置するか、2階建て以上の家屋を避難場所として活用していくのも検討課題かと思えます。

避難タワーの設置の課題は用地提供

再質問 避難タワー設置に向けての考えは。

答弁 総務課長

マリンパークは避難困難地域に指定されていることもふまえて、避難タワー設置が最適かと思いますが、避難タワー設置には用地の提供が求められます。地元のご協力があれば設置について検討していきたいと思えます。



空から見たマリンパーク

「委員会活動報告」

総務文教常任委員会 厚生常任委員会

閉会中の所管事務調査として、幼保一元化施設の取組みについて、児童福祉及び就学前教育の環境整備の視点から総務文教常任委員会、厚生常任委員会の合同委員会として開催しました。

幼保一元化施設について

平成18年に印南町幼稚園父母の会から一元化施設の請願が出され、3月議会では全会一致で採択、6月には教育委員会でも全会一致で一元化施設の建設が認められている幼保一元化施設の取組みについて、2月9日に教育委員会の説明を受けた。

まず、2月6日から月末にかけて町内の保育園、幼稚園保護者への説明会の実施、予定をしているところがあります。

近年核家族化やライフスタイルの変化、価値観の変化等によって、幼稚園、保

育園に対する利用者が求める機能が変わってきている。

幼稚園では、通常の時間以外に長時間預かりを希望する保護者が増加。保育園でも就労形態の多様化によって時間延長や一時保育、加えて低年齢児の保育など保育ニーズが高まっている。

また、建物の老朽化、さらに少子化により、園児数一人当たりの運営単価が高い状況。

このような状況を解決していくためには、幼稚園、保育園を集約して統合園を作る以外に方法はないと判断している。

(この後、説明資料により、アンケート結果の分析、一元化施設の概要として、工事費、平面図、バス運行等の説明を受け、質疑応答に入った。)

質疑応答(主なもの)

Q 長時間児の園運営時間が午前7時30分から午後7時00分までとなっているが、説明の教員の人数でやっていけるのかどうか。



A 長時間保育では9時間にわたり、説明をしました。教員数14人では厳しく、フリー保育士とかフリー教員とか、そういう人も2、3人つくらないとやっていけないと考えています。ローテーションについても、しっかり考えていかなければなりません。

Q 財政についてですが、建築総額は5億5千万円となっているが、補助金、起債等についてはどうか。

A 資金計画のとおり、補助金7千万円しか財源がない状況。後は全て起債と借金になります。

Q 開園の時期とバスの利用は3km以上の根拠はどうか。

A 町長は平成23年4月と云っていますが、財源の問題があるので現在、研究しているところ。

バスの3kmの根拠とか縛りはないんですが、山口くらしいまでは保護者にお願いたいということですよ。

Q 定員の募集についてですが、町内に限っているのか。

A 他市町から広域に入所希望があれば、やはり拒むことは出来ないと思っております。

Q 一元化後の残った施設の有効利用はどうか。

A 切目川保育園については、小学校が4月から統合となり、保護者の強い要望が出ている跡地にプールを造りたいと思っていますが、他の園については、今のところ具体的な計画というのはいりません。

Q 園の保護者に対しての説明会ですが、入園前の子どもをもつ保護者への説明会はどうか。

A 今後、該当する保護者との説明会は随時5、6人であっても要望があれば行かせていただきます。

産業建設常任委員会

閉会中の所管事務調査として、印南町内での防災対策施設整備と漁業振興の2項目について関係担当課の説明を受けました。

町内の防災対策施設整備について

建設課より現在までの成果と今後の計画等について説明を受ける。

避難道路整備

・要害山避難道路整備
延長168.94m

町単独事業としての避難道路の整備

・平成18年度 6ヶ所
・平成19年度 3ヶ所
津波・高潮危機管理対策緊急事業

この事業は陸間整備と防潮堤整備がある。

・陸間整備として切目漁港3基、印南漁港、印南川の川口(本郷・浜)、光川で10基を整備

・防潮堤整備として、光川防潮堤、延長369.47m

を整備。町単独事業として約80cmの嵩上げ。

急傾斜地崩壊対策事業

現在町内で実施計画されているヶ所は、光川、古屋、印南原（白河）、横川の4地区。

県単独の急傾斜事業

現在、羽六、印南原（奈良井）、印南地区で実施中。新規では印南原と西神ノ川が予定されている。

通常砂防事業

土石流災害を防ぐための対策事業で、谷の上流側に砂防堰堤を築堤して、下流河川まで渓流保全（水路）を整備する事業で、22年度より印南原白河地区2ヶ所、23年度より羽六地区1ヶ所を予定している。

質疑応答の中で、防災については総務課の担当だが、技術的なことは建設課のアドバイスも必要なことから、今後とも総務課と建設課が一体となつて、災害に強いまちづくりをお願いした。

また、切目川水域の改修は切目川ダムの関連事業として改修されているが、印南川の改修については改修がなかなか難しいところがあるが、上流に調整池とか貯留地を整備し、そこで一時蓄えて下流に流すという方法などでの検討

を要望した。

漁業振興について

産業課より説明

今後の漁業振興については漁業後継者対策として、イサキ、ヒラメ、オニオコゼ、ク工等、県の栽培センターから稚魚の配布を受け、中間育成のあと、放流している。

稚貝放流実験事業としては昭和56年度より稚貝の放流を行っており、現在も実施中である。

事業における一定の成果は見られたものの、今のところ水揚げの成果は出ていない。

投石事業等については、資源管理型漁業の推進と築磯による伊勢エビ、貝類生育用の造成を実施している。

これからの漁業振興策については、直売施設の整備、加工による付加価値、観光漁業の振興等が考えられるが、地域の漁民の中から前向きな意見や提案等を出し合つて取り組むことが重要であると考えている。



まちづくり特別委員会

まちづくり特別委員会において調査研究してきた5つの調査項目について、委員会としての調査評価を行いました。

1つめの「新法における第2次市町村合併に関する調査研究」については、その動きが見られないことから、調査の必要性がないと判断。

2つめの「議会の適正化」については、21の調査項目について調査研究してきたところであり、調査項目のうち「議員の費用弁償」「議会議員の定数」について、小委員会を設け、3月定例会において、議員発議により条例の改正案を提出。

「費用弁償の廃止に係る条例改正案」については全会一致で可決。「議会議員の定数改正案」については賛成11、反対1で可決されたところであります。

3つめの「印南町財政健全化計画「集中改革プラン」に関する調査研究」については執行部より説明を受け、内容について協議、検討してきたところであります。

4つめの「防災対策に関する調査研究」についてはソフト面では総務文教常任委員



議員数について意見が交された

会、ハード面については産業建設常任委員会でも今後、調査研究を期するところであります。

5つめの「その他のまちづくりに関する調査研究」については情報社会へ対応したまちづくりということで、ケーブルテレビについての研究を行ったところである。

まちづくり特別委員会としては一定の成果があったものと評価するとともに、今後、特別委員会として調査研究が必要な事項が出てきたときは、その調査研究に当たることとしていきます。



質疑応答の中で、効果のある事業については継続を考えていくこと、また、漁業振興のための人づくりを漁業関係者と話をするなど積極的に取り組まれるよう要望した。

株式会社 石橋

町内企業めぐり7

町民の皆さんに、もっと町内企業を知っていただこうと、今月号から再び町内企業を紹介してまいります。今回は「株式会社石橋」をご紹介します。



「私達にしかないもの・できないこと」に挑戦



代表取締役
石橋 幸四郎 氏

称し現在に至っております。

会社の概要

現 在、正社員35名、パート社員65名の組織です。

南は新宮市から北は大阪府堺市にかけて14店のガソリンスタンド網をもつ**エネルギー事業部**と、3年前から和歌山市内で障がい者就労支援サービス事業「**チャレンジメイト**」を運営する**福祉事業部**、そして昨年からシイタケ栽培を開始した**バイオ事業部**の3事業を展開しております。

また、その事業活動においては、ISO14001認証を維持し地球環境保全の取り組みも実施しており、省エネ活動や太陽光発電設備の導入及び廃木材由来のバイオエタノール混合ガソリン(E3)の販売にも取り組んでおります。

国民的課題でありますエネルギー・食糧・福祉・環境の分野において、これらを融合した事業活動を展開することを課題としております。

経営理念

志を同じくする者が相集い力を合わせ、英知

と信念と情熱をもって会社資源を活用し、社会の求める価値を創造し提供することにより、企業市民として社会に貢献する。」

この事業目的に沿って、一人一人の個性と人間性を尊重した企業風土・文化を築き、「私達にしかないもの・できないこと」に挑戦し、地域社会から必要とされる会社を目指しております。

昨 年から、町有地・施設を借りして、アグリ事業に感謝をこめて「テーマで展開させて頂いております

が、町民の皆様のご理解ご協力に感謝いたしております。

今後、このキノコ栽培において、印南地域の障がい者福祉事業と共に、印南町の豊富な森林資源を菌床材料として活用し持続的な保

全を図ると共に、廃菌床による有機栽培堆肥利用を計画しておりますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

印南町に望むこと



パック詰め生産ライン



菌床シイタケ

あとがき

今回の3月定例会は、3月9日に開会し、16日に閉会しましたが、寂しいことに傍聴者が1人もありませんでした。議会の傍聴は行政に参加出来る唯一の方法です、是非ご参加下さい。

また、今回は21年度予算を審議する議会として活発な論戦を展開。多面にわたっての審議がなされました。

さらに、今回の議会で、議員の費用弁償の廃止に係る条例改正や、議員定数を14人から12人とする定数条例の改正も行いました。

今年には印南町議会議員の一般選挙、さらに衆議院議員の選挙も控えています。

議会をたよりに皆さんのお手元に届く頃は春爛漫の季節を迎えていることを存じます。

百年に一度と言われる社会経済危機は真冬を感じます。こうした状況に早く春がくるとを願うこやみません。

議会広報特別委員会

- 委員長 榎本 一平
- 副委員長 西山 徹
- 委員 廣野 英幸
- 委員 前山 立美
- 委員 谷井 長平
- 委員 鈴木 紀博